



定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter

蓄熱材タイプ 5℃ TypeB

Cat. No. TCT-B05

2025 年 10 月 29 日作成

www.cosmobio.co.jp

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

【Ⅰ】製品仕様

- ・輸送用発泡スチロール箱 TypeB
サンプルスペース：130 × 90 × 140mm (24well プレート× 4 枚分相当)
培地ボトルスペース：250 mL × 1 本分
- ・蓄熱材 5℃用 F-5(480 g × 4 個)
- ・外装バック (外寸：395 x 310 x 250 mm)

【Ⅱ】蓄熱材の予熱・予冷

本製品に使用しております蓄熱材 F-5 は、事前に予熱または予冷が必要です。次の条件で必ず2日間以上、予熱、予冷を行ってください。

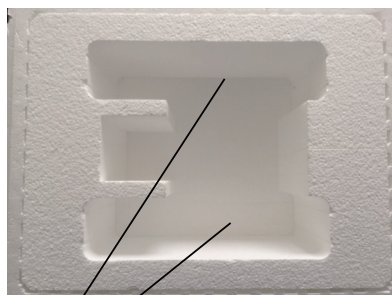
- ・輸送時の平均外気が 5℃以下の場合：10~20℃で予熱 (透明ゼリー状で使用)
- ・輸送時の平均外気が 5℃以上の場合：0~2℃ (チルド冷蔵庫、氷水等) で予冷 (白色固化した状態で使用)

※密着して積み重ねると内部の予熱・予冷が不十分になります。蓄熱材間に隙間をつくるなどして、内部まで熱が十分伝わるようにしてください。

【Ⅲ】梱包方法

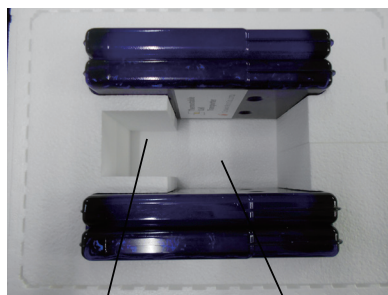
- (1) 蓄熱材 F-5 (480 g × 4 個) を予熱または予冷します。
- (2) 輸送用発泡スチロール箱内の両壁にそって 480 g の蓄熱材を各 2 個セットします (図 2)。
- (3) 培養プレート、培地ボトルなどを入れます。必要に応じてエアクッション、ガーゼ等の緩衝材で隙間を埋め、ボトルなどを固定して下さい。(図 3)。

図 1



蓄熱材スペース

図2



ボトルスペース サンプルスペース

図3



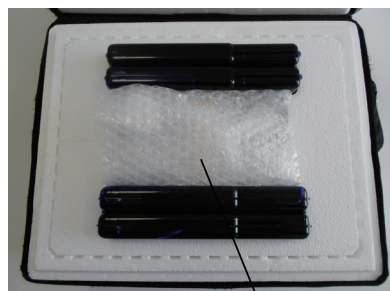
(4) サンプル上部をエアクッション、ガーゼなどの緩衝材で隙間を埋めます (図4)。

ただし、過剰な緩衝材はふたの密閉を妨げるため、ご注意ください。

(5) 外装バックのふたをマジックテープでしっかり固定します (図5、図6)。

(6) 密閉後の輸送容器は常温にて輸送可能です。

図4



緩衝材

図5



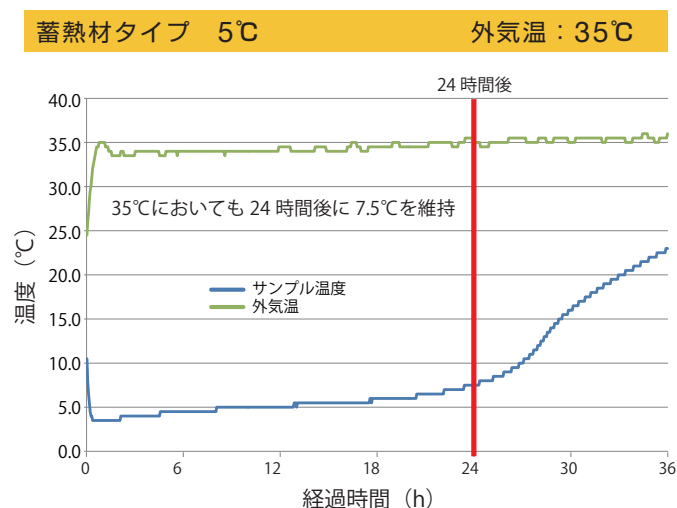
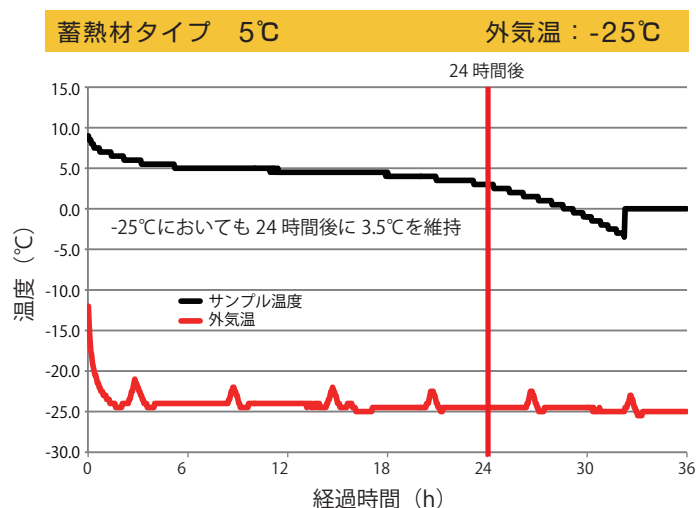
図6



【IV】 その他

1. 輸送用発泡スチロール箱および蓋は消耗品です。使用に伴い、蓋の密閉度が劣化した場合は、新しい箱に交換が必要です。交換用品の購入に関しては弊社営業部にお問い合わせください。
2. 猛暑時期、極寒時期、または、設定温度と著しく異なる環境（車内など）に放置した場合は、温度精度が落ちます。外気温や輸送中の置き場所などにはご注意ください。
3. バッテリータイプの定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter バッテリータイプ 5℃ /20℃ /32℃ もございます。

【V】 蓄熱材タイプ 5℃ 温度データ例



12401


コスモ・バイオ株式会社
 COSMO BIO CO., LTD.

— 商品の価格・在庫・納期に関するお問い合わせ —
 TEL: 03-5632-9630 (受付時間 9:00 ~ 17:30)
 FAX: 03-5632-9623

— 商品に関するお問い合わせ —
 TEL: 03-5632-9610 (受付時間 9:00 ~ 17:30)
 FAX: 03-5632-9619